

～反射材フェア2015～より

ピカッと光って 交通安全

夜間の交通事故防止に反射材の活用を!

「反射材フェア2015」(山梨県・山梨県警察・山梨県交通安全協会・日本反射材普及協会主催)が、甲府市の山梨県防災新館で開催されました。

反射材グッズを作る県内外の11社が出展し、約200種類の商品が展示されるとともに、県内交通事故の状況や反射材の効果についての講習が行われました。



靴に取り付ける反射材

デザイン性に優れたグッズもたくさん

現在では、通常の衣服と同じように見えるタイプのものや、デザイン性に優れたものや犬のリード、くつひも、キーホルダーなど楽しいグッズもたくさん商品化されています。

夜間、車のヘッドライトを下向きにした状態で歩行者の見える距離は、着ている衣服の色によって25m～40mとされています。

一方、車が歩行者を発見して停止するまでの距離は、時速60kmで44mにもなるため、この距離では



車が歩行者に気付いてブレーキを踏んでも間に合いません。

しかし、反射材を身に付けることで、夜間の自動車からの歩行者の見える距離は57mとなり、時速60kmの車も歩行者の手前で停止が可能となります。

夜間の交通事故防止のため、老若男女を問わず、積極的に反射材グッズを使用しましょう。

散歩の時は、反射材のタスキやリストバンドをつけて交通事故を防ぎましょう!

種類もいっぱい。かばんや杖、ベビーカーにはシールやキーホルダーをつけてね!



反射材についてのお問い合わせ

山梨県交通安全協会 ☎055・280・5550

山梨県社会福祉協議会・
「やまなしの福祉9月号」資料